これまでの検討内容の取りまとめ（要旨）

1. 高岡市の教育のめざすべき方向性

- 高岡市総合計画は、めざすべきまちの姿として「教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている」を掲げ、教育関係の基本方針として「確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育」などに取り組むとしている。
- 高岡市教育大綱は、基本方針として「個性が輝き、可能性が花開く教育環境の創造」を掲げ、小学校生活から中学校生活への円滑な接続、学校規模の適正化に取り組むとしている。

2. 小中連携教育・一貫教育の推進

- 小中一貫教育は、全国で 249（14%）の市町村教委等で取り組まれている。総合的評価では、学習指導、生活指導、学校運営等において高い評価となっている。課題については、評価が分かれており、準備や調整のための時間や交流のための移動手段の確保が課題であるとされている。（平成 30 年 3 月文科省調査）
- 総合計画で掲げる「子育てや教育の環境が充実し、選ばれるまち」であり続けるためにも、子どもたちの継続した成長を促す切れ目のない教育を充実する小中一貫教育を効果的に推進することが望まれる。
- その際には、義務教育 9 年間で連続した教育課程として捉えた具体的な取組内容の質を上げていくことが重要である。学校を核として家庭・地域が相互に連携し、地域ぐるみで子どもたちの成長を支える体制をより充実していくことにも配慮が必要である。

3. 望ましい学校の規模と配置

- 高岡市においては、今後も児童生徒数の減少が見込まれる中、人口減少期における未来を拓く子どもたちの教育充実の観点から、保護者や地域の理解を得ながら再編統合を着実に進めることが望まれる。
- 平成 32 年度以降の小中学校での新学習指導要領の全面実施など教育改革の流れに後れを取ることないように、教育環境の充実が望まれる。
- また、厳しい財政状況の下で、限られた資源を集中して教育の充実と持続可能な体制整備が必要であり、将来の世代に大きな負担を押し付けるようなことにならないよう、市民各位の一層の理解が望まれる。

○五位中学校区の3小学校の再編統合

- ・五位中学校区の3小学校については、これまでも地区統合協議会において検討が行われ、地域の合意もあることから、統合小学校の設置に向け、早急に整備を進めることが望ましい。
- ・統合小学校は、今後本市で進める小中一貫教育のモデル校を目指すこととし、将来的には、中学校との施設一体化を図ることも視野に、五位中学校の隣接地に建設することが望ましい。
- ・3小学校の統合を進めるにあたっては、より規模の小さい小学校の児童の環境変化に配慮し、より規模の小さい小学校を先行して統合し、その後速やかに3小学校の統合を完了するよう、段階的に進めることが望ましい。
- ・通学距離が遠くなる児童には、スクールバス等の運行について配慮することが望ましい。